

○5番（関原奈津美君）

○議長（古畑浩一君）

関原議員より訂正の申出がありました。

皆様、これを認めることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

ご異議なしと認め、訂正することといたします。

それでは、次に、利根川 正議員の一般質問を行います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。〔6番 利根川 正君登壇〕

○6番（利根川 正君）

利根川 正です。

初めに、今回雪の除雪に対して業者の方々、大変ご苦労されたと思います。雪が続いたため、置場の確保も大変だったと思います。改めて、感謝を申し上げます。

また、市民の方々、玄関先、また駐車場等、雪の除雪も大変だったと思います。今回、冬の選挙もあり、市の職員の方々も吹雪の中、深夜までご苦労されました。改めて、感謝を申し上げます。

では、1回目の質問をお願いします。

1、公共施設の適正化について。

糸魚川市の公共施設の市民1人当たりの延床面積は、全国平均の2倍あり、保有する施設面積は過大と言えます。

今回、12月に糸魚川市公共施設等総合管理指針の改訂案が示されましたが、中長期的な視点で公共施設を最適化する考え方に転換していかなくてはならないと考えます。老朽化した施設は廃止や縮小、または譲渡して適正配置を進める必要があります。

これらを踏まえて以下伺います。

- (1) これまでも公共施設等総合管理指針には、スポーツレクリエーション施設のスキー場等の在り方について検討しますとあり、経過として令和4年にスキー場管理活用等調査業務を委託して実施、令和5年9月の建設産業常任委員会にて、令和7年度中に方針を固めると説明がありました。今回12月に方針が出され、シーサイドバレースキー場について、令和8年度から民間事業者への譲渡に向けて具体的な手続を行う方針が出され、令和10年度までをめどに譲渡を進めるとしていますが、関心ある会社があるのか伺います。
- (2) 普通財産で活用をめどが立たない施設、例として旧保育園、旧小学校、また倉庫など40の施設がありますが、売却、再利用するよう進めているのか伺います。
- (3) 公園施設については、利用状況や施設効果を踏まえ、特に中山間地での公園施設の在り方

を考える必要があります。トイレの利用状況、また、草刈り管理の負担を考え、用途廃止を含めた考えがあるか伺います。

(4) 市の管理である閉館中の能生歴史民俗資料館、同じく森林公園（神道山）山荘の建物（古民家）の売却を行えないか伺います。

2、屋内遊戯場、子育て支援センターについて。

(1) 地域子育て支援拠点として民間の既存施設を活用し、コストを抑制して進めようとしていますが、市民への周知、理解、意見等を聞いているのか伺います。

(2) 2月4日に総務文教常任委員会にて民間施設の現地視察を行っていますが、室内の高さが低い、窓が少ない、駐車場が少ない等幾つかの問題点があり、市はどのように考えているか伺います。

(3) 12月定例会では、基本計画（案）として、運営費が約2,500万円となっていますが、屋内遊戯場、子育て支援センターとどのように振り分けされるのか伺います。

(4) 屋内遊戯場、子育て支援センターの賃貸借料、10年契約で月70万円は高額だと考えます。糸魚川市の今ある施設、旧小学校を再利用してできると思いますが、市の考えを伺います。

(5) 広い体育館、グラウンドでボール等を使い、伸び伸び遊べる場所が望ましいと考えます。子育て世帯のアンケート結果からもアスレチックやボール遊びも希望されています。市の考えを伺います。

3、糸魚川市の今後の農業について。

(1) 令和8年の新潟県の主食用米の生産目安が前年実績の4.5%減と発表がありました。糸魚川市はどのように捉えているか伺います。

(2) 令和7年産米の小売価格が一向に下がらず、消費者の負担が増していますが、市はどのように捉えているか伺います。

(3) ふるさと納税の昨年の米の販売額と今年度の目標、取組について伺います。

(4) 政府が掲げるスマート農業の取組について、糸魚川市はどのように進めていくのか伺います。

(5) 糸魚川市も地元の食材を学校給食に導入して、ジオ給食など盛んに活用していますが、近年、物価高騰を受け、仕入価格が上昇していて、給食の品数、量的な面で大丈夫なのか伺います。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

利根川議員のご質問にお答えさせていただきたいと思っております。

1番目の1点目のシーサイドバレースキー場の民間譲渡につきましては、現時点では提案等は受けておりません。

2点目の普通財産につきましては、民間へ貸し付けるなど利活用を図っております。引き続き、

サウンディング調査により、市場ニーズの把握に努めるとともに、財産処分に係る一連の業務について、事務処理要領の作成を検討してまいります。

3点目の用途廃止につきましては、地元の意向等も踏まえ、検討してまいります。

4点目の市の管理施設の売却につきましては、能生歴史民俗資料館は、白山神社と一体的な景観と認識しておりますので、当面、売却を行う予定はありません。

神道山公園の神道山荘につきましては、地元等と協議しながら、活用方法や売却も含め検討してまいります。

2番目の1点目の市民周知等につきましては、市議会や地区懇談会、市の広報等を通じて、既存施設を活用した屋内遊戯場の整備を周知してまいりました。議会での説明を経て、予算等の議決をいただいた後に、改めて関係者のご意見をお聞きしてまいります。

2点目の民間施設の活用につきましては、民間事業者から創意工夫ある提案を求めらる中で、既存の空間を最大限活用した魅力的な屋内環境の実現を図ってまいります。

3点目の運営費の配分につきましては、人件費については配置人数、光熱水費等の施設維持に係る経費については面積比で案分することとなりますが、遊戯場が約1,400万円、子育て支援センターが約1,100万円と見込んでおります。

ただし、実際の運営では、施設を一体的に管理運営することから、個別に案分して管理することは考えておりません。

4点目の旧小学校の再利用につきましては、多くの建物が利用者の居住地から離れており、利便性の面で課題があると認識しております。また、比較的中心部であっても、耐震補強がされていないなど、活用が困難な施設もあります。

5点目の遊びの内容につきましては、可能な範囲で多様な遊びが創出でき、利用者に喜ばれる施設を目指して、整備を進めてまいります。

3番目の1点目の県の生産目安につきましては、国の基本指針に基づき、需給に応じた生産に向け、設定されたものと認識しております。

2点目の米の小売価格につきましては、需要と市場価格のバランスによる推移について、注視してまいります。

3点目のふるさと納税の返礼品としました7年産米の寄附額につきましては、2月16日現在、約4億5,000万円であります。当市の返礼品の約7割が米であり、引き続き、生産者との調整や効果的な情報発信を行い、8年度は、今年度を上回ることを目標に取り組んでまいります。

4点目のスマート農業の取組につきましては、先端技術の導入に向けた水田の大区画化を推進するとともに、中山間地域に適した技術の活用を啓発してまいります。

5点目の物価高騰の影響につきましては、一部を市で負担するとともに、献立を工夫しながら、バランスの取れた給食を提供するよう努めております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度の質問によりましては所管の部・課長からの答弁になりますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

では、1番目、公共施設から、（1）よろしくお願いします。

今年のスキー場、多くの利用をされております。また、このオリンピック効果もあり、かなりの人出となっております。

また、平日でも、外国の方が多く訪れています。話を聞きますと、成田空港からキャンピングカーを借りて直接来ているとか、案内ガイドを連れて、案内してもらっているいろんなスキー場を回っている。また、白馬から3万円かけてタクシーで来たとかという話も聞いております。海外の方が本当に多く利用されている傾向になっております。

では今回、シーサイドバレースキー場ですか、シーサイドバレースキー場、これは昭和55年の冬、観光施設としてスタートし、経営母体が民間会社から地域主体の株式会社になり、市町村合併を経て、指定管理制度で運営が継続されています。コロナ、地震、暖冬による雪不足等があり、また、スキー人口の減少等もあり、難しい状態が続いております。

しかし、この地区のスキー産業は、雇用確保のほか、周辺の宿泊施設の仕入れ業者、また、スキースクールの人など、経済効果をもたらしています。また、学校のスキー教室、市民の健康づくり、地域づくり等の場として、シーサイドバレースキー場は欠かせません。

これらを考え、新たな考えで継続できる企業に速やかに譲渡できるように進めてもらいたいというふうに思います。これらを含めて伺いたいと思います。

まず、最初に、今現在運営をお願いしております株式会社シーサイドバレー様の単独での継続はできないか、また、シーサイドバレーの方と話合いが進んでいるのか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

昨年10月に、株式会社糸魚川シーサイドバレーの取締役会にお邪魔して、市の方針を説明させていただいて、その後、協議を進めさせていただいております。2月の18日には、臨時株主総会にお邪魔しまして、市の方針を説明させていただいて、質疑応答をしているところでございます。ご質問の単独での運営といたしますか、この8年から10年、8、9、10の3年間をかけて譲渡に向かう取組の中で、現状で株式会社シーサイドバレーがそれを引き継ぐという意向は、伺ってはおりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

あと根知地区の方、近隣住民の方には、このようにシーサイドバレーの方向に行くということ

説明されておるのでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

現状、取締役会と自治会長といたしますか、根知地区の振興協議会長様、また、地元でシーサイドバレースキー場の運営に非常に協力をされていました建設会社様等にお話をさせていただいたところでございます。地元の住民向けの説明会ということは、まだ実施はしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

今回、昨年度あたりからリフト料金、また宿泊料金も値上げしております。今回の料金値上げを行って、改善の兆しが見えるのか、その辺の営業状態は伺っているのでしょうか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

シーサイドバレースキー場につきましては、現状12月、1月の入込み数につきまして、昨年より若干低い数字にはなっております。

ただ、令和4年、5年に比べれば、それよりは多くなっております。まだ料金改定の成果といたしますか、結果については、現在まだシーズン中ですのでお聞きしておりませんが、宿泊については料金改定の影響で好調だということはお聞きしました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

次に、譲渡する場合のことなんですけど、ふだんですと譲渡先に手渡す場合、老朽化したところの修繕や更新など、必要なところを直して渡すというのが常識だというふうに思っています。

また、条件次第で進めることもできますし、例えば複数年の間に修繕料を払うとか、また、大規模改修のときには市が持つとか、条件次第で譲渡を進めることができると思いますが、この辺の考え方はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

まず、現状こちらから譲渡を希望される方に条件を示すという状況ではまずないものですから、

それについて今、令和8年度予算に調査等の業務委託の費用を要求させていただいております。今後の動きにつきましては、まず、財産の整理や地権者の意向確認ということをした後に、運営を引き継ぐ方にサウンディング調査と言われる手法でご意見をお聞きしたいと思っております。それが進む段階で、今、議員ご提案のような条件の整理がされてくるものというふうに捉えておりますので、市としましては、できれば有利な条件で引き取っていただけるということで交渉を続けてまいりたいと思っておりますので、今後、令和8年度以降そういった形で進むということでご理解いただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

今お言葉にあったんですけど、今回8年度の予算にある、スキー場の譲渡支援業務委託の案件、これはどのような内容なのか、ちょっと分かるところでよろしいんで、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

現状、先ほどとも重複しますが、まず、物件等の調査が必要というふうに捉えておまして、現在あります財産、取得した時期からかなり年数がたっておりますので、取得額からどれほどの価値があるかというものをまず見極める必要があること、また、借地もございますので、地権者に市がこれから譲渡をしようとする部分についての地権者の意向の確認が必要だと思っております。それらをまず、地元といいますか内部的な作業を終えた後に、今度、本格的な譲渡に向けて、スキー場の運営を引き継いでいただけるような、例えばですがリゾート開発会社さんに声をかけるですとか、そういった動きを取っていく段階になると思います。それらの業務委託費の令和8年度分を要求させていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

今、借地という言葉が出たんですけど、シーサイドバレースキー場で、譲渡する施設はどこまで予定しているのか。

また、住民から借りている土地等もあると思います。駐車場、4つある土地は借地と理解してありますが、譲渡の場合、どのようになるのか、その辺、分かれば教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

基本的には全ての市が所有している建物、土地を含めて譲渡をしたいという考え方になりますが、

ご指摘のように借地がございまして、借地につきましては、地権者様が、糸魚川市には貸していただけていますが、譲渡先にはお貸ししたくない、例えばの例ですが、そういったことも今後、出てくる可能性はありますので、まず、意向の確認をさせていただきたいと思います。その後、実際に買収して譲渡に向かうかとか、いろいろな手段が考えられるかと思いますが、そちらについても令和8年度の業務の中で選定の方法、譲渡の方法を含めて検討してまいりたいと考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

借地、貸してもらうのが一番だと思いますので、よろしくをお願いします。

次に、シーサイドバレースキー場は、令和4年度にスキー場管理活用調査業務を委託して、調査してもらっております。このとき積雪の問題等ありましたし、そのときに人工降雪機を使って雪を作り出すのがいいんじゃないかという案ももらっております。また、営業の利益の問題なども提案してもらっております。厳しい面があるというふうに認識しておりますが、この調査の結果を受けて、市はどのように捉えているか、今のところの内容が分かれば、教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

調査結果については、これまでも議会のほうには説明をさせてきていただいておりますが、今、議員申し上げられたように、両スキー場とも、二つのスキー場、シーサイドバレー、シャルマンともに、民間であれば事業撤退するレベルだということで指摘を受けております。

そういったものも含めまして、これまでの指定管理、評価委員会ですとかそういった部分の事業者に対する改善提案ですとかを踏まえて、現行、この段階に来て、このまま市が運営するスキー場ということで指定管理制度を続けていくのは、いずれ限界が来るだろうという判断で、今回、譲渡を目指したいというものになります。

ただ、可能性については、時代がもうどんどん、どんどんずれておりますし、今年のシャルマン火打の入込みを見ておりますと、メインのリフトが動いてない割には入込みが非常に多い状況が見えますので、白馬や妙高の動きも含めながら、この後、そういったところに関心を持つ事業者に魅力を伝えていければ譲渡は可能だというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

一つ改善策として、経営の面で近年、白馬岩岳、また、湯沢などのグリーンシーズンの営業に力を入れて、冬のシーズンよりも、かえって利用客が多いというふうに聞いております。また、シーサイドバレースキー場でもグリーンシーズンにもっと力を入れていくべき、シャルマンも言えるんですが、力を入れていくべきと考えます。シーサイドバレーでは宿泊施設もありますし、また、糸

魚川市の体育館、また、4月から廃校になります小学校の体育館等を使い、大学運動部の合宿の誘致、また、登山、山岳マラソン、またウォーキング、自然観察、それからまた稲作の体験ツアー、オートキャンプなど、グリーンシーズンで稼ぐことも考えられます。ぜひともこれを実施して、冬以外のところでも利益が出せるように進めていってほしいと思います。よろしくお願いします。

次に、1つお聞きしたいんですが、先ほど言われました市の管轄の施設を全部含めて、譲渡を考えたいというふうにおっしゃいましたが、個々に、例えばホテルだけだとか、スキー場のリフトのみとか、そういう形での譲渡はできるものですか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

今後、事業者と接触する中でそういった調整が必要になると思っておりますが、例えばシーサイドバレースキー場につきましては、第一、第二、第三ゲレンデと第五、第六ゲレンデといいますか、分かれていますので、それを分割するとか、温泉だけ、宿泊施設だけ希望するという方も、中には出てくる可能性はあるかと思っておりますので、そちらを総合的に判断して一番有利な条件で譲渡が進めるように検討してまいりたいと考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

スキー場の専門なところ、また、ホテルの専門のところもありますんで、その辺の広い範囲での理解をお願いしたいと思います。

次に、海外資本の会社まで視野に入れていきたいというふうに述べられております。最近、妙高等リゾート化になる場合もあります。またその場合、スキー場だけじゃなくて、その近隣の山などの開発、また、買収等がある場合がありますが、これは市としては容認できるのか、それを含めて海外の資本に渡すという考えでいいのか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

最終的には海外資本まで視野に入れるということで、さきの委員会のほうで答弁をさせていただいておりますが、それはあくまでスキー場の部分に限ったものであります。実際には、地元ではやはりそういった部分に心配される声もお聞きしておりますので、例えば日本法人があるとか、現地の企業と特別目的会社をつくるか、そういった条件を我々のほうからお示しして、皆さんに安心感を持ってもらうということは可能かと思います。

委員ご心配の、周りの部分にどういった制約をかけるかとかというところは、ちょっとまだ今の段階では、市としてどういった進め方をすればいいかというところまでは考えが至っておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

次に、スキー場の再建の一例として、今年1月1日に閉鎖の危機から復活した新潟県の最北端にある村上のぶどうスノーリゾートがあります。1988年のオープン、昨年、村上市を財政健全化のため閉鎖を予定していましたが、営業努力によって東京のIT会社、シンクファーストがスキー場を運営することに決まりました。この1月1日にスタートしております。IT企業なので精算のキャッシュレス化を実施、また、そのほかに空き家を民泊に改装したり、今後、キャンプ場を進めていく方針でおられます。

村上市としては、3年間、土地、施設、設備を無償で貸し付ける、IT企業が借り受ける形で契約を結んでおります。糸魚川市もこの数年間、相手方が希望されれば無償譲渡という考えはあるのかどうか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

ご指摘の村上市の例は、非常に面白い取組かというふうに把握しております。無償譲渡ということも当然あり得ると思っております。できれば先ほど来、有利な条件でということは申し上げますが、無償譲渡、または無償貸借みたいな形で、まず、スキー場が将来にわたって存続することを選んでいきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

先ほども前の女性の方の議員が質問しておりましたが、令和10年度までに譲渡先が見つからない場合、廃止という、私も理解しておるんですが、この場合どうなるのか、もう一度お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

サウンディングという手続を取りながら、事業者がどういった反応を示されるかという部分で、我々が有利な条件を提示すべきなのか、先ほど利根川議員おっしゃられたように、修繕費をつけて渡す必要が出てくるのかとかも踏まえまして、有利な条件で引き受けてもらえる事業者に譲渡はしたいというふうに思っておりますが、譲渡が難しいという判断に至るようになりましたら、いずれかの時点で最終的な方針を決定しなければならないとは考えております。現状では、まだすぐ、即廃止ということは、先ほど来申し上げておりませんが、このサウンディングの中で相手方の反応を見ながら、どこまで譲れるかというところで最終的な判断を下すものというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

10年までということなんで、本当に力を入れてやってもらいたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。それから、本当にスキー場に関しましては、地元のため、また教育のスキー教室のため、新たに引き受けてもらう企業が出てもらうように強く望みますし、市の公共施設の最適化に向けて進めてもらいたいというふうに思います。よろしくをお願いします。

次に、（2）の旧保育園、旧小学校の再利用について、以前から売却、また活用してもらうように提案しております。今後、ますます子供が少なくなる中、空き校舎を利用してもらうように進めるべきだと思います。例として、この長岡市、休眠状態の旧保育園、小学校を民間に利用してもらうため市場調査を行い、7つの業者から提案があり、内容は、多世代交流拠点、小規模向けシェアオフィス、ドッグラン、水耕栽培の施設、また発電施設、芸術関連、農業関連など様々な提案がありました。

また、課題として、1者の活用ではなく複数者で借りることができればという指摘もありました。可能性があることがうかがえます。糸魚川市もサウンディング型市場調査を実施してほしいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

閉校した学校等の利活用ということについては、これまでも議員のほうからもご質問等をいただいております。閉校した時点で、地元の皆さんのご意向等も踏まえながら利活用のアイデア等も検討してきたところではございますが、なかなか実現できていないといったところがございます。

学校のほうの関係でも、令和5年度には旧浦本小と市振小学校でサウンディング調査なども実施しましたけれども、参加の申込者がなかったといった経過もございます。

また今後、今ある廃校施設につきましては、また改めて検討する中で、こういったサウンディング調査も含めながら、検討は引き続き進めてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

もう一つ、長野県の飯綱町のいづなコネクトというところがあります。これは、もう既にスタートしておりますが、閉校した小学校を再利用して、自然、スポーツ、健康がテーマの自然体験型の交流施設で、校内には、コミュニティラウンジ、コインランドリー、食堂、グラウンドではサッカー場、また40人まで泊まれる宿、またシェアオフィス等を展開しております。また、体育館で

は、スケートボードパーク、野外ではプールを改装して、同じくスケートボードパークを生まれ変わらせております。成功している例として挙げられます。ぜひ近いので参考にしてみてもらいたいと思います。よろしくお願いします。

次に、(3)公園施設で糸魚川市、都市公園66か所、市民公園15か所、臨海公園1か所があります。管理運営していますが、人口減少、少子高齢化の今、公共施設の縮減と立地適正化計画を踏まえ、効率的に計画的にスピード感を持って、適正数にするよう進める必要があります。特に山間地や町なかの近場に重複している公園等を含め、私の考えですと30か所ぐらいに絞り込むことができないか、またその結果、集中させた公園には充実させていくよう進められないか伺いたいと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほど議員からご指摘ありましたとおり、人口減少社会におきまして、公共施設の効率的な管理というのは非常に重要であると捉えております。公園につきましては、当市の指針にも利用状況に応じて廃止を含め検討をと明記されております。

しかしながら、公園につきましては、地域の大切なコミュニティの場でもあります。再編に当たっては、単なる廃止ありきで進めるのではなくて、当然地域の皆様の声に丁寧に耳を傾けて、その実情を把握することが不可欠であると認識しております。今後、地元の皆さんと協議を通じまして現在の利用実態とか、あと防災機能など、多角的に検討した上で、重複した機能の集約とか、あとは重点的な整備を行いまして、本当に必要とされる公園として高められるように、我々管理しているのは都市公園ばかりじゃなくて、今ほどお話ありました山間地の公園等も含めて、計画的に取り組んでまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

地域の住民の方と話し合いを進めて、ぜひお願いしたいと思います。トイレの管理等、また草刈り等、大変だということも出てきておりますので、よろしくお願いします。

最後に、古民家の売却の件なんですが、先ほど市長言われました白山神社の関係、また、地元の方との話し合いというように聞いております。古民家として、ケヤキ造りでかなり価値のある再利用できるものと思っております。このほかにも、木浦のゆとり館の別館であるとか、かやぶきの屋根の古民家等があります。今現在、妙高のリゾート施設の開発で、古民家を対象とした建物を建てたいというふうに声も聞いております。

また、都会では、旧古民家を使った飲食店も今、流行だということに聞いておりますので、その辺も含めて、住民の方とよく話し合いをしてもらって、今、高いうちに、売れるときに売ってもらったほうが、お互いよいのではないかというふうに思いますので、よろしくお願いします。

次に、2番目の子育て支援施設、屋内遊戯場についてです。

(1)は、市長が13地区の説明会のときには子育て支援センター、屋内遊戯場施設の場所などを公表していませんでした。12月12日の議会定例会提出資料で基本計画案が出されました。近隣住民の方々には説明しておられるのか、また、何か住民の方から意見等がありましたら伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

12月の市議会のほうでは、屋内遊戯場の候補地ということでお示しをさせていただきました。まずは市議会でご説明をさせていただいて、ご審議いただいた上で、市民の意見を伺うというような段階に進みたいと考えておりますので、また計画のほうを、その内容を具体化させていく中では、関係者等、市民の方からもご意見を聞く機会を設けていきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ぜひとも説明のほうよろしくをお願いします。

計画というよりも民間施設の活用ですが、一番に感じることは、この間見させてもらいましたが、天井の高さが低い、小学校の高学年が遊ぶにはちょっと高さが低いなというふうに感じております。それから、海側の窓が少なく、遊戯等を入れた場合に狭く感じる。また、遊具の大きさ等を確認しておられるのか、その辺ちょっとお聞きしたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

計画予定のその施設のちょっと天井高に今心配があるというご質問かとは思いますが、屋内遊戯場に関しましては、もともと子育て世代のニーズとして、あまりそういった高学年のお子さんというよりも、乳幼児等、小さいお子さんの利用というニーズが多くあったというふうに私ども認識しておりまして、これまでの駅北での計画の中でも、やはり小さいお子さんばかりではなく兄弟利用も考える中で、高学年の小学生までということで利用範囲を広げたといったような経過もございます。

高学年の利用までも含めて考えていきたいとは思いますが、軸としましては、小さいお子さん、乳幼児のお子さんを中心に考えていって、また採光等、窓がというようなご指摘もございましたけれども、限られた空間を工夫しながら使いやすいような形で活用して検討を進めてまいりたいとい

うふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

次に、3番目の支援センターの件なんですけど、糸魚川市には4つの支援センターがありますが、このうちの2つの支援センターをここにまとめるという形での考えでいいのか、その辺をお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

今計画しております屋内遊戯場のほうには、現在やまのい保育園の中にあります糸魚川子育て支援センターを移設して、利便性を高めていきたいというふうには考えております。

また、今、はやかわ保育園さんに併設しております糸魚川東部子育て支援センターについても、距離的にも近いといったこともございます。今後そちらのほうの利用者の状況も踏まえながら、併せて統合していくような形は検討をしてみたいというふうには考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

理解いたしました。

次に、ここちょっと一番重要なところなんですけど、（4）の既存施設の活用で、市の建物を活用すると私自身、考えておりました。旧小学校を活用すれば賃貸料もかからず、賃貸にお金もかからない。また、広い体育館、グラウンドも使えますし、イメージとして、入善にあるわくわくドーム等が該当すると思います。糸魚川市の方も、かなり多く来られます。

先週の休日ですと、子供で100人、大人を含めて200人以上の方が利用して、駐車場が本当に、あの広い駐車場がいっぱいになるぐらいに人気が出ております。

それからつい先日、18日も私、行っております。午後からの悪天候の中、15名ほどの親子連れ、おじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんというふうな感じで遊んでいる方もおられます。糸魚川もアスレチックやボール遊びだけでも十分楽しめますし、新たに旧小学校、改めて、私の考えとしては、木浦小などが最適じゃないかというふうに思っておりますので、活用等を考えられないか、お伺いします。いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

廃校となりました旧小学校の体育館等の活用ということのご質問でございますけれども、今回、これまでもそういった小学校の利活用といったところは検討しなかったわけではございませんが、最初の市長答弁にもございましたように、やはりそういった閉校施設につきましては、実際に屋内遊戯場を利用すると思われる利用者の方からの居住地からはやはり離れているといったような実態がございます。また、今ご指摘のような体育館等を使うにしましても、やはり空調設備等も含めてかなりの改修費用等も想定されますことから、今回はそういった小学校等を利用するというような判断には至らなかったというものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

場所的に離れてるといのはあれですけど、入善等の距離でもかなりの方が行っておられますので、よろしくをお願いします。

また、先ほど市長も言いましたが、今井の小学校が、これ耐震化されていないというふうに確認しております。こちらのほうは難しいとしても、中心部じゃなくても離れても、お子さん連れて親子で伸び伸びと遊べることを求めますので、また再検討のほうをよろしくをお願いします。

次に、（４）の旧小学校の活用で前に述べましたけど、公共施設のときにも言いました、体育館、グラウンド、教育活動、体力づくりの場、また、将棋、囲碁、また各教室を使えば、子供から高齢者の方まで利用できる場所になります。この利用の形は理想的な形と思いますし、実行してもらいたいというふうに思います。はっきり言って民間施設の活用で月70万、1年間840万は考え直すべきだと思いますので、よろしくをお願いします。

次に、（５）のアンケートから、第1希望が、アンケート結果から水遊び、2番目には砂遊び、土遊び、これらはグラウンドでできますし、3番目は飛び跳ね遊具、アスレチック、ボール遊びとなり、グラウンド、体育館でもどちらでもできますし、再検討のほうも、またこちらをよろしくをお願いします。

最後に、本来、基本計画の中止から駅北遊び広場、屋内遊戯場、子育て支援センターと別れましたが、市長は人口減少において、人口規模に応じた公共施設の規模を見直していくということで、将来的な財政負担を軽減することにつながると言われました。この計画で軽減につながっていくのかという思いがあります。市長いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えいたします。

今回、この駅北の件と屋内遊戯場の件は、これから先5年から10年スパンで考えたときに、ある意味、ミニマムな事業になります。もっと考えなきゃいけないのは、糸魚川市全体のコンパクトシティ化なんですね。ファーストプレイス、いわゆる住居、セカンドプレイス、病院、学校、それをやっぱり糸魚川市としてどう考えていくのか。今いう、これから整備するところはサードプレイスなんですね。サードプレイスの場所というのは、やっぱり交通的な部分も考えなきゃいけないし、市民がやっぱりある程度の需要を持った、利活用を持った場所である。それともう一つ、さっき公園等の話も出てきましたけれども、ある程度遠方にある公園が、これから先どうなっていくのかという部分、それはサードプレイスとしての価値がある、いわゆる観光に資して稼ぐ力のある場所が、サードプレイスになっていく。そこには交通機関も通さなきゃならない。そういう部分でいくと、大きなくくりの中のファーストプレイスとセカンドプレイスをどうまず設置して、市民の生活を守っていくのか。そしてサードプレイスの考え方をどうするのかというふうに立ってみれば、今回の整備計画において言えば、その前段として、まずファーストプレイス、セカンドプレイスの、ある一定の位置に集約する一つの手法だというふうに考えております。そういう観点で、今回、整備計画を進めていきたいというものも持ち合わせながら、皆様からご理解をしていただけるように対話と、また納得解を生み出していければと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

お互い市民が納得できるように、スムーズに進むようにお願いしたいというふうに思います。よろしくをお願いします。

次に、3の農業について、（1）の8年度、糸魚川市の稲作の生産目標、前年と比べてどのぐらいなのか。

また、糸魚川市の状況はどのように分析しているか、ちょっとお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

令和8年産の主食用米の生産目安は、本年1月に開催いたしました糸魚川市農業再生協議会の総会におきまして、令和7年産と同じ1,322ヘクタールで議決をいただいております。生産者の皆様へも既に周知をさせていただいております。

糸魚川市の場合は、非主食用米の栽培面積が少ないため、品種転換による主食用米への栽培面積の拡大が非常に難しい状況でございます。特に昨年のような主食用米の価格が高騰した場合でも、非主食用米からの転換される面積よりも高齢化や担い手不足等による遊休農地になる面積のほうが多くなっているような状況でございます。過去5年を見ましても、毎年実際に耕作される面積が、生産目標、生産目安を下回るような状態が続いておりますので、引き続き遊休農地をできるだけ発

生させないような施策が重要だというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

次に、（3）番の今現在7年度産米の糸魚川市のふるさと納税の米の販売状況が理解できました。また昨年、早い時期にふるさと納税のお米を切らせております。今年、この状況で大丈夫なのか、その辺が分かればお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

昨年度は、やはりお米の調整につきましては苦勞したところでございます。今年度は、やはり昨年度の反省をもちまして、生産者の皆様と調整を図りながら、ふるさと納税の寄附金を確保していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

在庫状況、量ですね、分かると思いますので、その辺の把握をしっかりとってもらって、切らさないように進めてもらいたいと思います。まだもうこの一、二年続くと思いますので、よろしく願いします。

次に、（4）のスマート農業。

政府は、自走式システム、自動で運転できる農業機械を進める。また、ドローンでの雪庇、除草を進める要としております。糸魚川市は、このスマート農業をどのような形で進めていくのか。

また、どの分野を強化していきたいというふうに思っているのか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

スマート農業につきましては、やはり機械の大型化、全自動化ということでございますので、やは

り大きな区画圃場でないとなかなか使用が難しいということで、糸魚川市といたしましても、今現在進めております圃場整備、圃場の大区画化について、これからも積極的に進めてまいりたいと思っております。

ただ、またなかなか田んぼの区画が大きくできない中山間地にも多くの水田がございます。こうしたところにつきましては、やはり特に、今おっしゃいますとおり、草刈り、除草という部分にかなり大きな労力を使っておりますので、そうしたドローンですとか、自動の草刈り機等を利用していただくように、昨年10月にも、スマート農業の技術研修会ということで、生産者の皆様にお声がけいたしまして、ちょうど当日雨で、実際に動いている様子は見ただけじゃなかったんですけども機械等見ていただいたり、また座学で、機械の特性等もご説明させていただいておりますので、そうした部分での啓発活動は積極的に進めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

よろしくをお願いします。

次に、（4）のちょっと1つお聞きしたいんですが、令和8年度の予算の中に、共同利用農業機械整備支援事業というのがあります。これ、分かれば、大まかな内容で構わないんですが、教えてください。どのような支援事業なのか、お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

現在、個人経営もしくは兼業農家でやっける農家の皆さんも、機械を当然、今使わなきゃ機械化の時代なんですけど、やはり機械の老朽化ですとか破損によりまして農地を手放すというケースがかなり多くなっております。先ほどお話しさせていただきましたような遊休農地の発生につながっておりますので、いわゆる個人ではなくて地域でお使いになる農機具につきまして、新たな支援策ということで立ち上げさせていただきたいというふうに考えております。また、今後の予算審査の中でもご検討いただければというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

地域で使うということで共同で使う場合の農業機械の支援ということで理解しました。

次に、（5）これは県内の女性議員からの問合せで、この物価高騰のため給食の内容、量が少なくなっているところがあり、糸魚川市でも確認してくださいという連絡がありました。今後、給食

費の無償化に向けて、その金額範囲内で大丈夫なのか。例えば市が今回不足分出しておりますが、生徒の親御さんから少し徴収していいのではないかというふうに意見も出ております。改めて、市として給食を充実させるために、いかなる方法でいくのかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

食材費の高騰ということで、給食に納入されるお米につきましても、令和6年度と比べますと、令和7年度に関しましては、単価で1.5倍ほどというような形で増えております。そういったこともございまして、今年度も9月の補正予算のほうで給食費のほうの食材費の増額等もお願いをしたところでございます。

そういった物価高騰に関しましては、今、保護者負担を上げないような形で、これまでずっと今年度も対応はさせていただいておりまして、基準の範囲内でしっかりと栄養価のある給食の提供に今努めているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

よろしく申し上げます。

では、農業の最後に、今回、生産者の立場でいうと平年の倍近くの価格で販売できました。その販売できた金額で機械の入替え等をやれることができました。

しかし、消費者、またJAからしてみれば、高過ぎる状況で、今後、安定した価格帯になるように、国・県と一緒に、糸魚川市の価格を注視していってもらいたいというふうに思います。

県も18日に発表されましたが、地域単位での集約化の加速、また、担い手同士の集約化、モチ米、酒米などの複数農家での栽培する団地化などを助成することを発表しております。生産性、収益性を高める方向に進めると見られます。市も一緒に進めてもらいたいというふうに思いますので、よろしく申し上げます。

以上で一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、利根川議員の質問が終わりました。

本日は、これにとどめ、延会といたします。

大変ご苦勞さまでございました。

〈午後3時48分 延会〉